

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 080	提案機関名 神奈川県酪農業協同組合連合会
要望問題名 有害鳥獣の食害に強い飼料用作物の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 世界的な穀物需給のひっ迫による飼料の高騰は畜産経営、特に酪農経営では危機的な状況となっている。飼料の自給率を高めるため、県内の酪農家は日々自給飼料の生産に取り組んでいる。しかし、中山間地での有害鳥獣の増加は飼料用作物を食い荒らし、生産性は極めて悪くなり生産を断念した地域も多い。そこで、有害鳥獣の食害に強い作物を開発し、中山間地でも安心して作付けできるようお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター 畜産技術センター	担当部所	生産技術部 企画指導部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	対応の内容等 有害鳥獣対策は重要な課題と認識していますが、飼料用作物については農業技術センターの所管外のため、実施不可とします。 有害鳥獣のうちシカやイノシシは、唐辛子、ネギ、玉ねぎ、にんにく、しょうがなど臭いの強い作物を嫌うため、これらのような臭い成分をもつ飼料作物を開発することが考えられますが、一方で、それらを牛が食べるか、生産される牛乳や肉への臭いの移行などの懸念があります。既存の牧草草種の組み合わせ等により、イノシシやシカの食害が低減するとの見解も見られるようですが、いずれにしても、実際にイノシシやシカの食害を検証することが難しいため、畜産技術センターでは試験等の実施は難しく実施不可とさせていただきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			